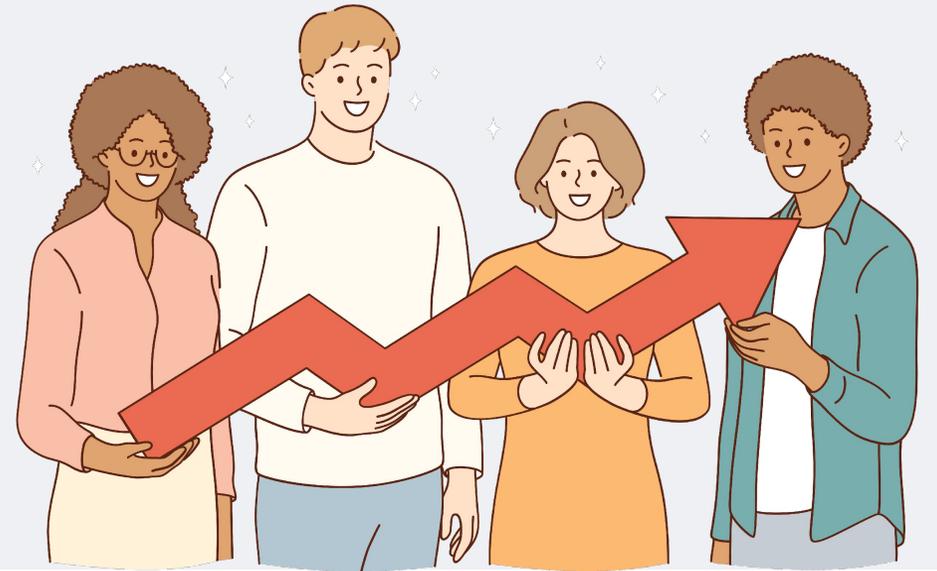


これからの時代に必要な人材育成がわかる！

社員のスキルを底上げする リスキリングのポイントと進め方



manebi

この資料を作った私たちについて

会社名 株式会社manebi
所在地 東京都豊島区東池袋 1-18-1 Hareza Tower 20F
設立 2013年8月
従業員 40人

ミッション

人の成長に寄り添うインフラを構築し、誰もが自分らしく輝く世界をつくる

事業内容

- ・社員教育プラットフォーム「manebi」の開発・販売
- ・派遣特化型eラーニング「派遣のミカタ」の開発・販売

manebi  派遣のミカタ

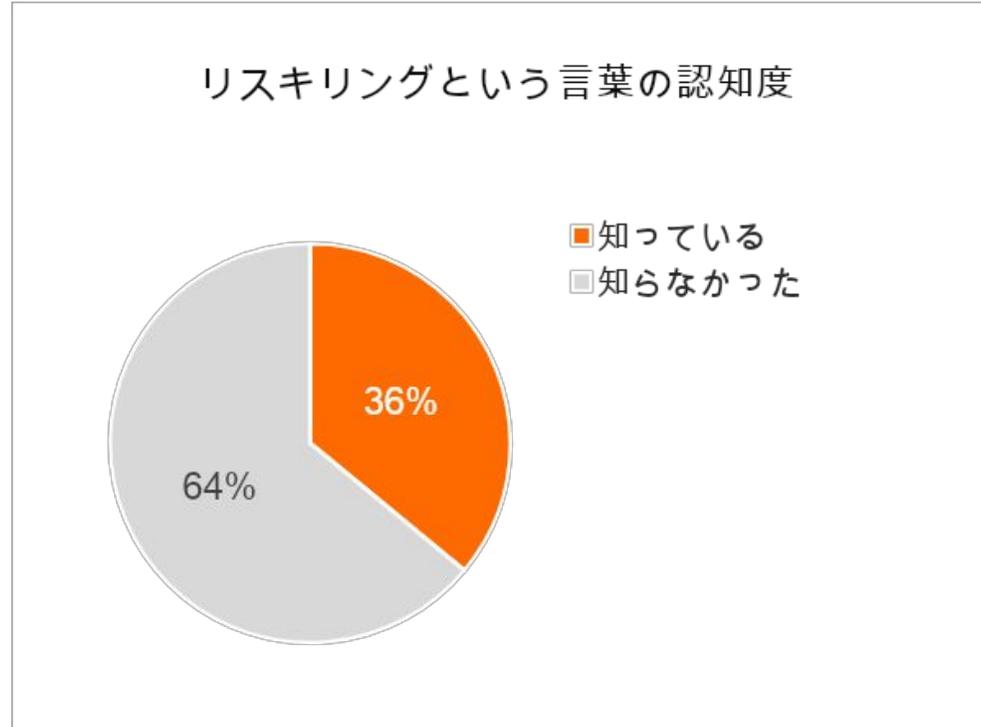


「**リスキリング**」について知っていますか？

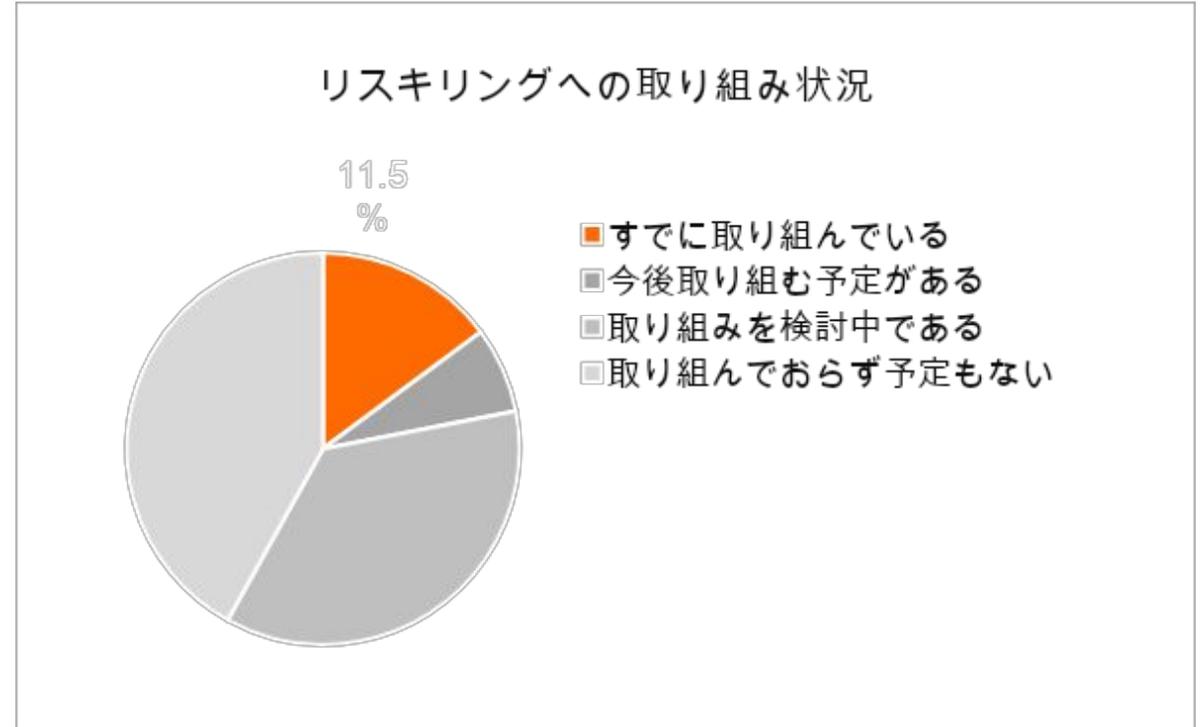
リスクリングの認知度・実施率はまだまだ低い

人事・人材教育担当者への調査では...

「知っている」約3割



「取り組んでいる」約1割

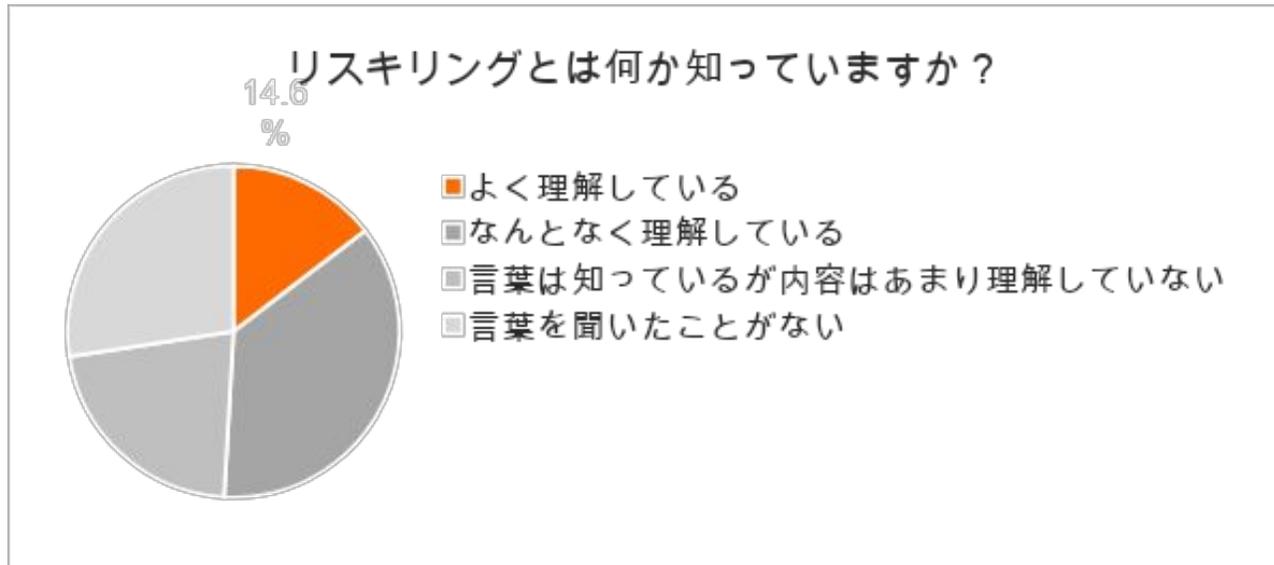


出典:産業能率大学 総合研究所「日本の企業・組織におけるリスクリング実態調査 報告書 2021」

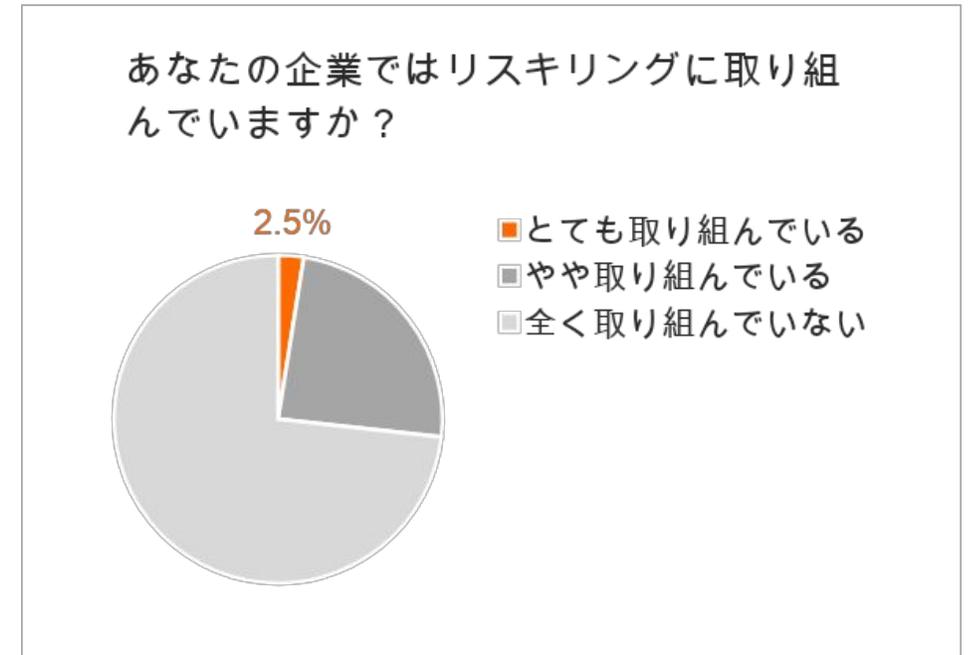
リスクリングの認知度・実施率はまだまだ低い

総務担当者への調査では...

「よく理解している」14.6%



「取り組んでいる」2.5%



出典：月間総務「リスクリングに関する調査」2022

リスキリングとは

新しい職業に就くために、あるいは、
今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、
必要なスキルを獲得する／させること

経済産業省「第2回 デジタル時代の人材政策に関する検討会」

従業員のスキルの再開発・再教育

リスクリングの必要性は世界でも訴えられている

世界経済フォーラム

2018 ● リスクリングに関するセッション開催

2019 ● リスクリングに関するセッション開催

2020 ● リスクリングに関するセッション開催

「世界10億人のリスクリング革命」発表

2030年までに世界10億人により良い教育・スキル・仕事を用意するという構想



「リスクリング」はこれからの時代に欠かせない！

- 01 なぜ今リスキリングが注目されているのか
- 02 これからの時代に必要な人材育成とは？
- 03 リスキリングのポイント
- 04 リスキリングの進め方

01 | なぜ今リスキリングが注目されているのか



「DX」が必須の時代になっているから

デジタルトランスフォーメーション

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは

2004年にスウェーデンの大学教授が提唱した概念



進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく

デジタル技術を浸透させ、人々の生活をより良く豊かにすること

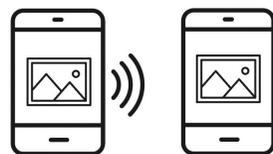
IT化と何が違う？

IT化

アナログな作業のデジタル化



現像して手渡し

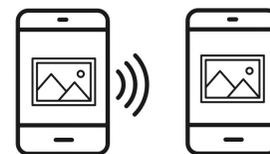


ネットで送受信



DX

サービス・ビジネスの仕組みを変革



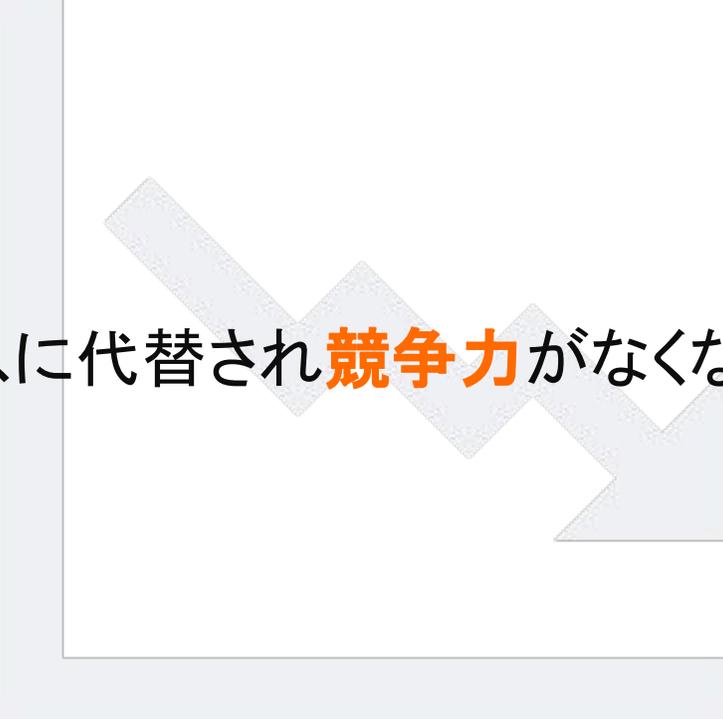
ネットで送受信



SNSでシェア

効率化のためのデジタル化に留まらず
人々の価値観やライフスタイルを変える変革のこと

なぜDXが必須なのか？

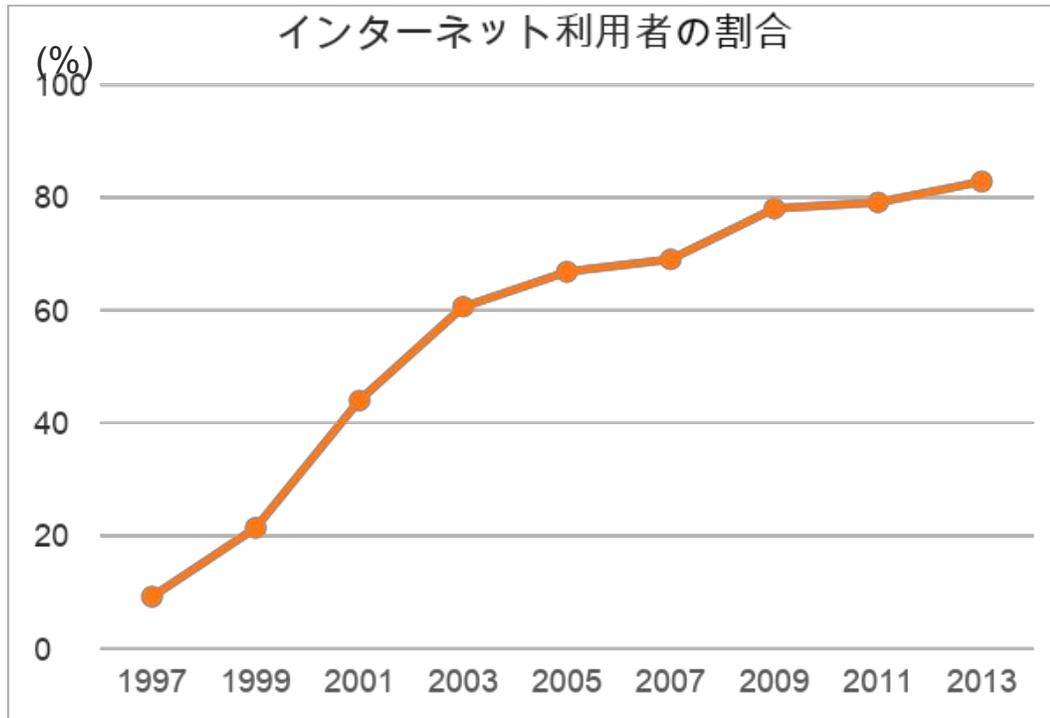


新しいサービスに代替され**競争力**がなくなってしまうから

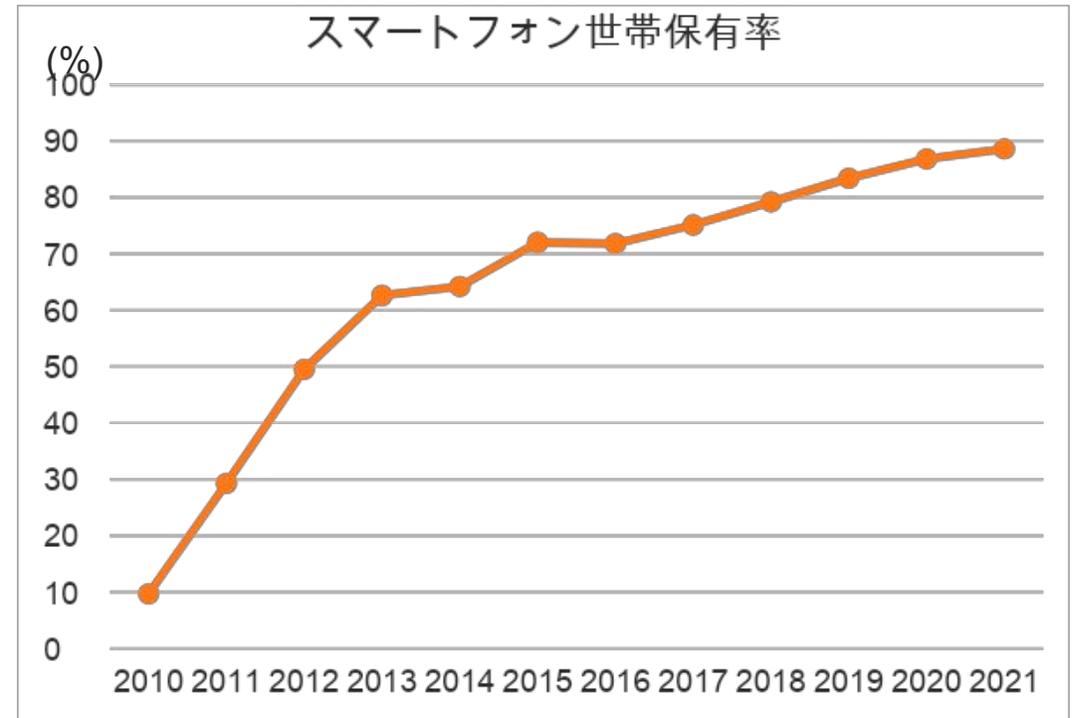
DXにより起こっている変化

90年代～2000年代

ネットが普及し**情報へのアクセス**が可能に



スマホの世帯保有率は約10年で**8割超え**

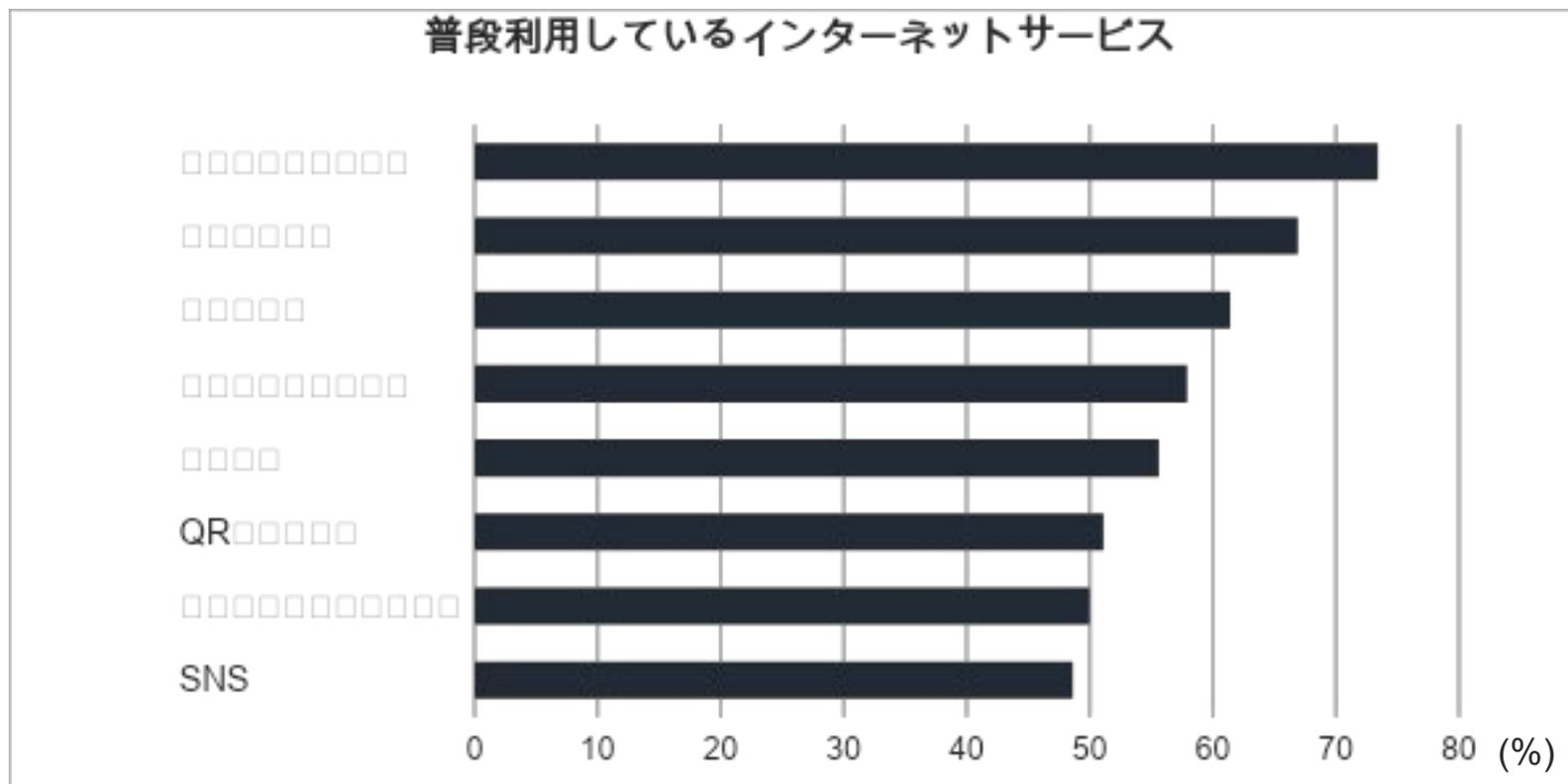


出典:総務省「通信利用動向調査」

DXにより起こっている変化

2022年現在

ネットショッピング、オンライン決済、動画配信、SNSなどの利用が増加



出典:総務省「情報通信白書」

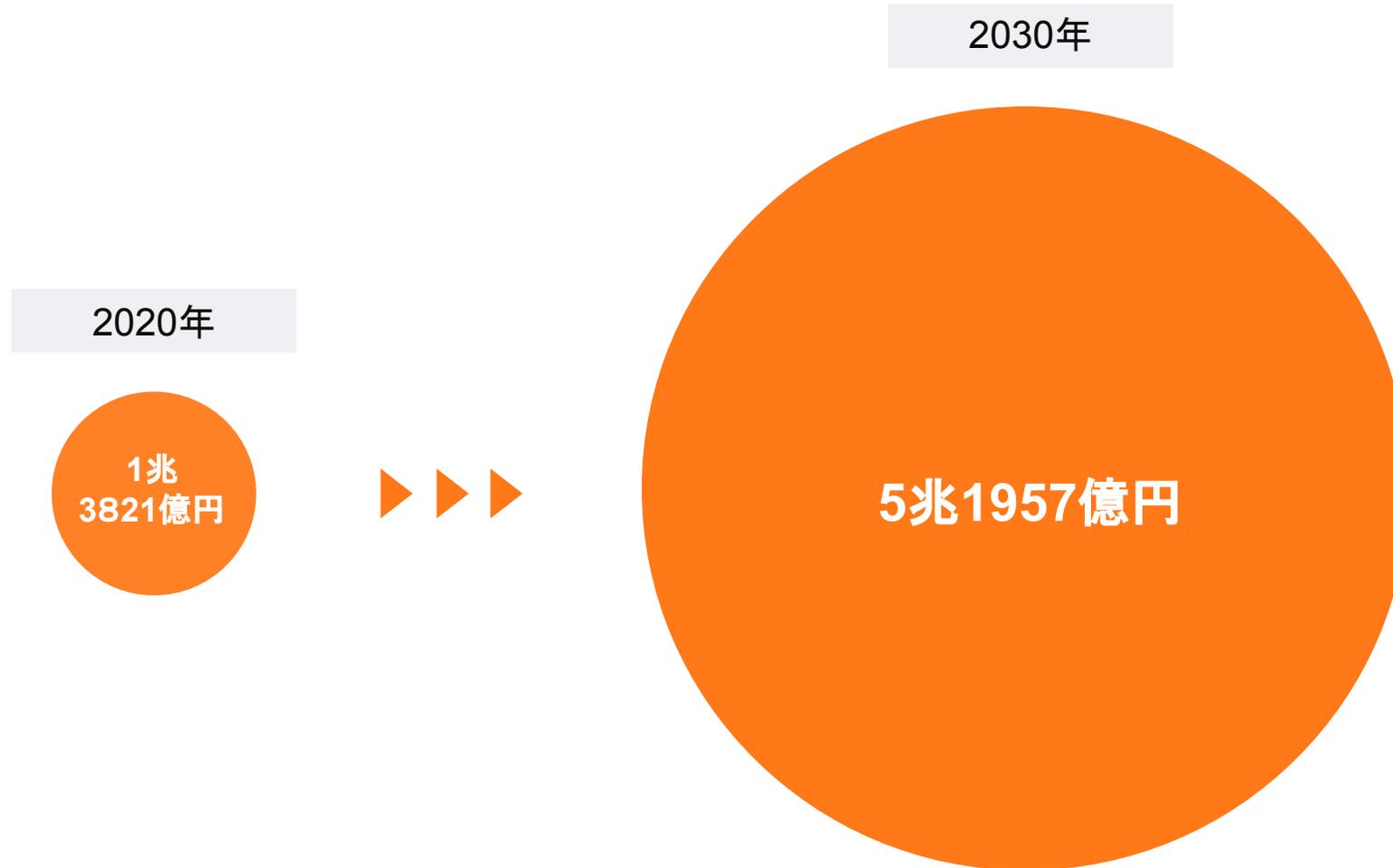
DXにより起こっている変化

消費行動・ビジネスモデルが変化

店舗で購入	オンラインショップで注文
店内で食事をする	宅配サービスを利用する
DVDをレンタルする	定額制の動画配信サービスで視聴する
購入して所有する	レンタルサービスを利用する
卸売業者・ECサイトを介して販売	自社サイト・SNSで販売する

DXにより起こっている変化

DXの市場規模予測(国内)



出典: 富士キメラ総研「デジタルトランスフォーメーションの国内市場調査」

DXにより起こっている変化

2022年～

デジタル化できるものはデジタル化される

デジタル技術ベースのビジネスが当たり前

新興のデジタル企業が市場のシェアを獲得

既存のサービス・ビジネスモデルの継続では衰退してしまう

02 | これからの時代に必要な人材育成とは？



DX推進のために必要なことを実施するためのリスクリング

DXを推進するために必要なこと

業務プロセスの改善

デジタル技術の活用

サービス・ビジネスモデルの変革

組織・文化の改革

? どうやって実現するか

- ・エンジニアを育成する？
- ・システムを導入する？
- ・DX人材を採用する？

理解しておくべきこと

✓ DXは単なるIT化プロジェクトではない

→ システム導入自体を目的にしない

→ 目的は「デジタル技術を活用して新しい顧客価値を生み出す」こと

✓ 経営層～従業員全員で取り組む必要がある

→ デジタルをベースにしたビジネスが当たり前になるため、

IT部門だけでなく全社で取り組むべき

✓ 採用よりも今いる人材の活用を考えるべき

→ 2030年には労働人口が150万人不足する見込み

→ 全社で取り組むためにはカルチャーフィットも重要

今から始められるリスキリング

- 1 ITリテラシー・DXの基礎学習
- 2 担当業務 / 新しい業務に関連するスキルの向上
- 3 データ収集・分析スキルの向上
- 4 技術・知識の伝承
- 5 企画・戦略などビジネススキルの向上

ITスキルだけでなくビジネススキルの向上も必要

今から始められるリスキリング

- 1 ITリテラシー・DX基礎学習
- 2 担当業務 / 新しい業務に関連するスキルの向上
- 3 データ収集・分析スキルの向上
- 4 技術・知識の伝承
- 5 企画・戦略などビジネススキルの向上

▼何を学ぶ？

- ・基礎PC・ツール操作
- ・情報セキュリティ、ITコンプライアンス
- ・社内システムの基本操作
- ・Microsoft Officeの使い方
- ・DXの基礎
- ・自動化技術等の活用の仕方と業務改善

▼効果

- ・基礎ITスキルの底上げ
- ・DXの基礎知識の習得
- ・デジタル技術の活用方法を知る

今から始められるリスキリング

- 1 ITリテラシー・DX基礎学習
- 2 担当業務 / 新しい業務に関連するスキルの向上
- 3 データ収集・分析スキルの向上
- 4 技術・知識の伝承
- 5 企画・戦略などビジネススキルの向上

▼目的

- ・業務範囲を広げるアップスキリング
- ・DXを目指した配置転換への対応

▼何を学ぶ？

- 例) 紙媒体デザイン → Webデザイン
- Webサービス → アプリ開発
- 受付対応 → (自動化) → 営業職

▼実施のコツ

- ・会社の経営方針に沿った配置転換をする
- ・本人のキャリアの意向も考慮する

今から始められるリスキリング

- 1 ITリテラシー・DX基礎学習
- 2 担当業務 / 新しい業務に関連するスキルの向上
- 3 データ収集・分析スキルの向上
- 4 技術・知識の伝承
- 5 企画・戦略などビジネススキルの向上

▼何を学ぶ？

- ・データの分析手法に関する知識
- ・Excelのデータ分析機能・関数
- ・データの集計テクニック
- ・データの整理・グラフの使い方
- ・数値分析から戦略への落とし込み方

▼効果

- ・より高度な顧客理解
- ・個々人に合わせたサービスのカスタマイズ
- ・サービス・商品の改善
- ・業務改善

今から始められるリスキリング

- 1 ITリテラシー・DX基礎学習
- 2 担当業務 / 新しい業務に関連するスキルの向上
- 3 データ収集・分析スキルの向上
- 4 技術・知識の伝承
- 5 企画・戦略などビジネススキルの向上

▼目的

- ・業務の属人化(ブラックボックス)の回避

▼背景

- ・担当者(優秀なシニア層)の引退

▼方法

- ・シニア層から学ぶOJTの実施
- ・業務のマニュアル化

今から始められるリスキリング

- 1 ITリテラシー・DX基礎学習
- 2 担当業務 / 新しい業務に関連するスキルの向上
- 3 データ収集・分析スキルの向上
- 4 技術・知識の伝承
- 5 企画・戦略などビジネススキルの向上

▼目的

- ・ビジネスモデルの変革
- ・新規事業の立ち上げ
- ・DX戦略立案(業務改善)

▼方法

- ・ビジネススキル研修
- ・上流工程への参加(経営、戦略、企画)
- ・アウトプットの機会をつくる(最近気になるニュースや学んだことの共有、業務改善提案、勉強会など)

対象者別リスクリング例

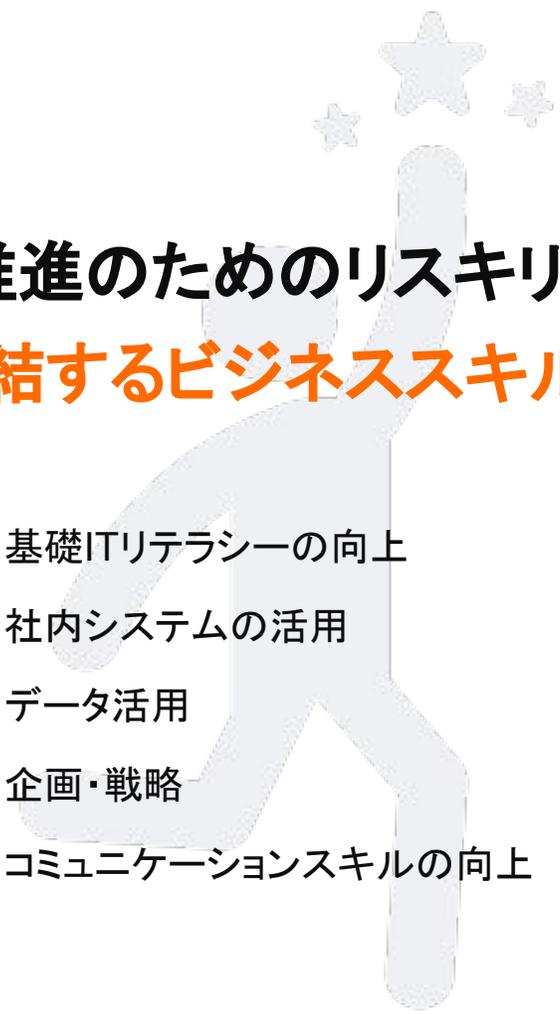
● = 推奨 ○ = 必要であれば実施

リスクリング内容	新入社員	若手社員	中堅社員	中間管理職	上位管理職
ITリテラシー研修					
・基礎PC、ツール操作	●				○
・社内システムの使い方	●				○
・IT基礎知識	●	●	●	●	●
・情報セキュリティ	●	●	●	●	●
DX・IT研修					
・DX理解	●	●	●	●	●
・自動化システム等の活用方法		●	●	●	●
・他社事例分析		●	●	●	●
・自社における業務改善立案		●	●	●	●
データ活用					
・分析手法		●	●	●	○
・データ集計テクニック		●	●	●	○
・データ整理、グラフ		●	●	●	○
・数値分析～戦略化		●	●	●	●

対象者別リスクリング例

● = 推奨 ○ = 必要であれば実施

リスクリング内容	新入社員	若手社員	中堅社員	中間管理職	上位管理職
ビジネススキル研修					
・基礎ビジネススキル	●				
・コミュニケーションスキル	●	●	●	●	●
・リーダーシップスキル			●	●	●
・マネジメント、人材育成スキル			●	●	●
・経営戦略			●	●	●
・企画、提案スキル		●	●	○	
その他					
・業務範囲を広げるスキル学習		●	●	●	
・異動先の職種に必要なスキルの学習		●	●	●	
・社内勉強会(学び合い)	●	●	●	●	●
・アイデアの種となる情報共有会	●	●	●	●	



DX推進のためのリスキリングは 担当業務に直結するビジネススキルの向上でもある

- ・基礎ITリテラシーの向上
- ・社内システムの活用
- ・データ活用
- ・企画・戦略
- ・コミュニケーションスキルの向上

03 | リスキリングのポイント

リスキリングの5つのポイント

- ① リスキリング(DX)推進担当者・チームをつくる
- ② 社内にリスキリングの必要性や会社の方針を繰り返し伝える
- ③ 実施する研修や学習内容の選定は会社の課題から逆算する
- ④ 社員の自主性に依存しない
- ⑤ 学習環境を用意する

リスクリングの5つのポイント

① リスクリング(DX)推進担当者・チームをつくる

<理由>

- ・DXに向けたリスクリングは長期的なビジネス戦略
- ・取り組みが形骸化しないよう継続的に推進していく必要がある

<ポイント>

- ・経営者や管理職など上層部の人をチームに入れる

リスクリングの5つのポイント

2 社内にリスクリングの必要性や会社の方針を繰り返し伝える

<理由>

- ・一人ひとりが危機感を持たなければリスクリングは進まない
- ・長期的な取り組み故に、時間が経つにつれて疎かになっていってしまう

<ポイント>

- ・全社ミーティングなどで繰り返し話をする
- ・社会の動きや会社の現状に加え、現状維持のリスクをわかりやすく伝える
- ・数字を用いて伝えるのも効果的

リスクリングの5つのポイント

参考資料



最も**自動化される可能性の高い作業系**の業務が

全体の**56%**

- ・2030年までに**既存業務の27%が自動化**見込み
- ・**1660万人の仕事が代替**される可能性

出典: マッキンゼー・アンド・カンパニー「The future of work in Japan」

リスキングの5つのポイント

③ 実施する研修や学習内容の選定は会社の課題から逆算する

<理由>

- ・実務に結びつかない研修は社員のモチベーション低下に繋がり成果にもならない
- ・やみくもな研修実施は業務改善やDXに繋がりにくい

<ポイント>

- ・会社の目標を達成する妨げになっている課題をはっきりさせる
- ・着手する優先順位を決め、実施する研修や対象者を決める
- ・対象者に研修の目的を伝えて納得してもらう

リスキングの5つのポイント

4 社員の自主性に依存しない

<理由>

- ・DXやリスキングにまだ理解が浅い人が多く、自主的に学べる人が少ない
(学習が進まないと学習のメリットを実感できず意欲も上がらない)

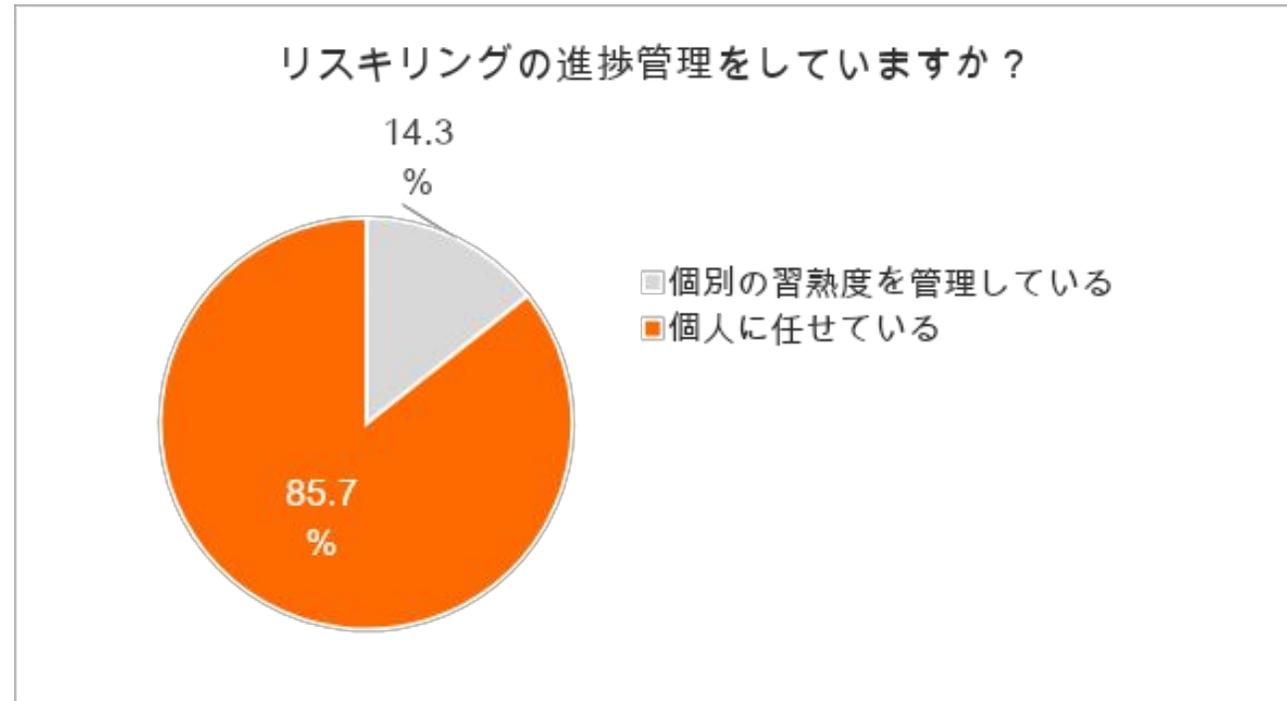
<ポイント>

- ・会社の方針と本人のキャリア意向をすり合わせる
- ・会社として必要なスキルと本人の学びたいスキルをすり合わせ目標を設定する
- ・研修・学習の進捗を定期面談等で確認、継続的にサポートする

リスクリングの5つのポイント

リスクリング実施企業の多くが学習を社員任せに

8割が「個人に任せている」



出典：月間総務「リスクリングに関する調査」2022

リスキングの5つのポイント

5 学習環境を用意する

<理由>

- ・スキルアップを求めても学習環境がなければ学習が進みづらい
- ・教材費等の負担が主体的な学習の妨げになってしまう

<ポイント>

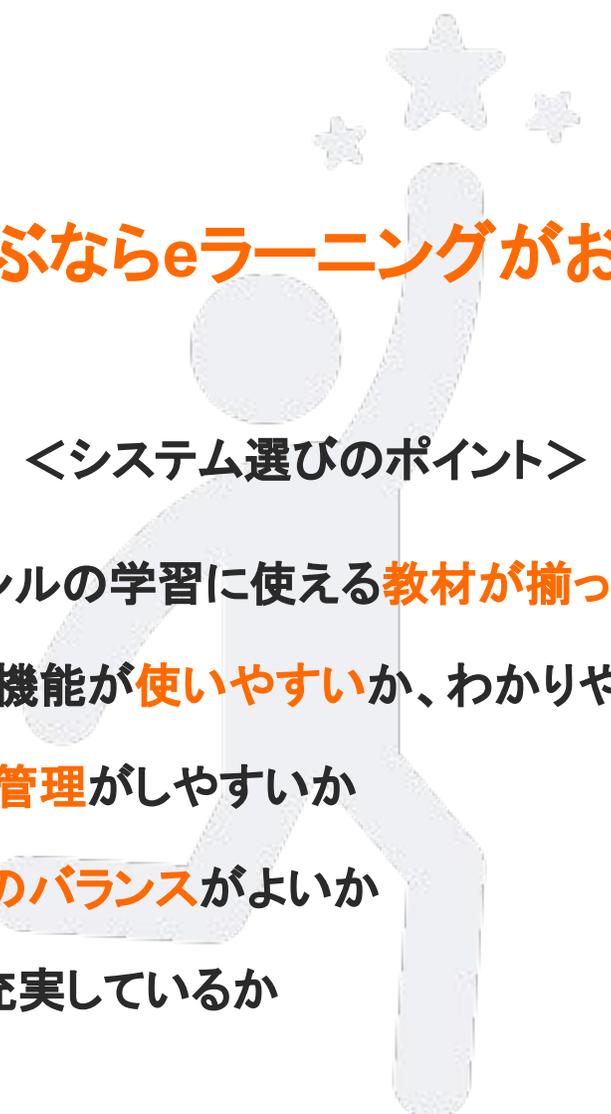
- ・セミナー・研修等の参加費や書籍費、学習ツールの利用費等を会社で負担する
- ・OJTの前に基礎を学べる環境を用意する
- ・基礎学習のあとに実践しながら学ぶOJTを実施する

04 | リスキリングの進め方

リスキングの進め方

- 1 DXのためのリスキング推進チームをつくる(経営層を含めて実行力を高める)
- 2 会社の課題・ニーズを整理する
- 3 誰に何を学んでもらうか決める(会社・本人ですり合わせ)
- 4 リスキングの必要性を説明する(対個人 & 対全社)
- 5 基礎を学べる学習環境を用意する
- 6 OJTで学べる環境を用意する
- 7 アウトプットの間を作る(業務や勉強会等)
- 8 学習進捗へのフィードバックと評価(モチベーションアップにも繋がる)
- 9 全体の進捗と成果共有(会社の課題解決がどれくらい進捗しているか)
- 10 問題点の改善

最後に...



基礎を学ぶならeラーニングがおすすめ！

<システム選びのポイント>

- ・様々なジャンルの学習に使える**教材が揃っているか**
- ・操作画面や機能が**使いやすいか**、わかりやすいか
- ・社員の**進捗管理**がしやすいか
- ・**機能と料金のバランス**がよいか
- ・**サポート**が充実しているか

社員研修eラーニング「manebi」

manebi



特長1

5,000レッスンが超低料金で見放題
※39名までのご利用なら月額19,800円のみ、40名以上は500円/1ID

特長2

当月のご利用(有効)ID数分のみのお支払い

特長3

充実のカスタマーサポートで運用を始めやすい

ビジネススキル

- ・Microsoft Office
- ・PC・タブレットスキル
- ・ビジネスマナー

ITスキル

- ・基礎知識
- ・AutoCAD
- ・ITパスポート
- ・プログラミング

情報セキュリティ

ビジネス推進力

- ・プレゼンスキル
- ・ロジカルスキル
- ・業務改善

コミュニケーション

マーケ・営業戦略

お気軽に**ご相談**ください。



TEL
050-1745-1811
(平□9:00～18:00)



Mail
sales-manebi@manebi.co.jp
(manebi事業営業部)



WEBSITE
<https://manebi.co.jp/service/e-learning/>

